

<「農業」の部>

多様な担い手の育成・確保

(1) 認定農業者等の担い手の育成・確保

○小郡市認定農業者の会を支援

小郡市認定農業者の会は、今後の小郡市の農業の中心的担い手として、市が認定をした農業者が、研修や情報交換などの創意工夫により農業経営の改善に資する場であるとともに、地域農業の発展に寄与していくために組織されています。

市では、小郡市認定農業者を支援するために、研修会を企画、消費者との交流や相談会を開催しています。

○情報発信・消費者との交流:

- ・三井高校スイーツ部による農場見学
- ・三井高校家庭クラブによる料理教室に参加
- ・三井高校スイーツ部へ米提供
- ・オータムフェスタ出店
- ・おごおりバザール出店
- ・オータムフェスタ ゲーム景品として商品提供

○研修・交流会への参加または開催:

- ・パートナー研修(宮若市)
- ・男の料理教室
- ・全国農業担い手サミット in やまがた
- ・役員視察研修(うきは市、朝倉市)
- ・農業団体人権研修会
- ・パソコン教室(全6回)

○営農相談会及び認定審査会の開催

○人・農地プラン

集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するため、関係機関と連携して「人・農地プラン」を展開し、認定農業者等の担い手の確保を推進しています。

30年度は、①任意組織が法人化、②親子の共同経営化、③経営移譲、④認定新規就農者の追加、⑤認定農業者の未更新があったことから改訂を行っています。

<平成31年3月25日時点>

(単位:経営体)

区域(地区名)	法人	個人	集落営農 (任意組織)	合計/昨年からの増減
(1)三国校区	3	9	3	15/±0
(2)立石校区	8	46	6	60/+1
(3)小郡校区	0	19	4	23/±0
(4)御原校区	1	22	4	27/+1
(5)味坂校区	4	35	5	44/-1
合計	16	131	22	169/+1

○研修・講演会

開催日	テーマ	主催
7/4	労務管理と就業規則について	三井地区農業経営雇用型研修会
8/7	夏場の暑さ対策について(熱中症予防・対策) 葉物野菜の病害虫について	第1回女性・新規就農者 経営セミナー
8/25	どうなる農業・農協の未来!	三井地区農業振興大会
8/30	ふくおか女性農業者の大活躍大会2018	福岡県
8/31	「働き方改革」に伴う外国人技能実習生との労働契約	三井地区農業経営雇用型研修会
11/6	ふくおか農林漁業女性起業ネットワーク交流会2018	福岡県女性農林漁業者の 活躍促進事業事務局
11/6	先進地視察:べんがら村、農業女子プロジェクト商品紹介	第2回女性経営セミナー
1/17	農事組合法人うもれ木の郷の法人運営について 今後の農政の方向性について	三井地区生産組織 リーダー研修会
3/19	改正出入国管理法に基づき創設される新在留資格研修	雇用型経営研修

(2) 新規就農者及び後継者の育成・確保

○就農相談

○30年度相談件数:6件(うち1件が独立就農)

○農業次世代人材投資資金(経営開始型)

新規就農者にとって生活が不安定な就農当初の時期を支援するために、前年所得に応じて給付金を支給する国の事業です。

○30年度個人受給者:3人、夫婦型受給者:6組(12人)が活用

○小郡市4Hクラブ

市内の若手農業者が、イベントを通じた地域貢献活動や親睦を図りながら、農業の生産技術や経営を学ぶとともに、生活上の課題を解決する力を養うことを目的としてつくられた学習グループで、全国組織。4Hとは、head(頭)、hand(手)、heart(心)、health(健康)の頭文字をとったものです。

30年度は、糸島市の先進地視察研修、小郡小学校児童による「稲刈り体験」等や園児による「芋ほり体験」や「餅つき体験」といった食育プロジェクト事業や久留米地域青年農業者会議でプロジェクト発表を行っています。

市は、団体の事務局として、プロジェクト実行の後押しをしています。



【食育プロジェクト:稲刈り体験】

(3) 女性・高齢農業者等の多様な担い手への支援

○講演会・研修

○女性・新規就農者経営セミナー(三井地区農業振興協議会/主催)

・視察研修(11/6開催):女性農業者4名参加(うち女性農村アドバイザー1名、環境保全米グループから2名)

・農業女子プロジェクトによる開発商品紹介

① まるは油脂化学株式会社(七色石鹼)

② 久富手袋工業株式会社(手袋・帽子)

農業女子プロジェクトは、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクトで、農林水産省が2013年にスタートさせた事業です。

プロジェクトの趣旨に賛同した企業と女性農業者が協同で、新たな商品やサービス、情報等の開発を行っており、本研修では、久留米市内の企業が担当して開発した商品を実際に体験してもらいました。



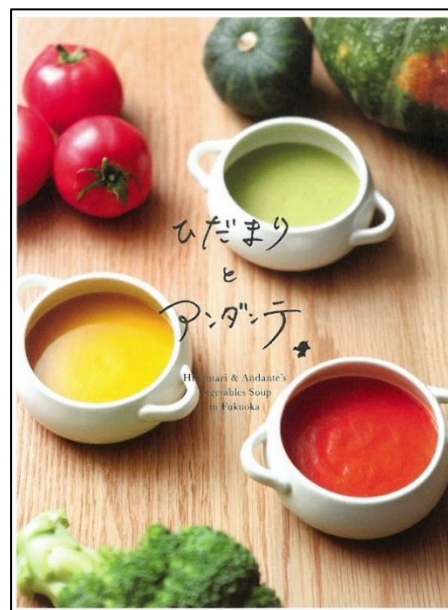
○11/13 開催 パートナー研修(小郡市認定農業者の会/主催):女性農業者7名参加

○千石屋

ふくおかエコ農産物栽培米農家が経営する販売所。また、黒米や米粉を使用したグルテンフリー焼き菓子やカステラ、ドーナツを製作することができる6次産業化加工施設を併設する。



【加工施設風景】



○株式会社花田農園

自社生産トマトを使用した6次産業化商品の開発。加工施設を設置し、異業種間で連携しながら、商品開発を行っている。

①原料生産から加工(榊花田農園)＋

②商品パッケージ(榊トータルデザインセンター)＋

③製造販売から販売(竹千寿(有))

【野菜栽培からレシピ考案、デザインに至るまで、すべての工程を女性たちが手がける“ひだまりとアンダンテ”】

収益性の高い農業経営の確立、競争力ある産地の育成

(1) 収益性が高く安定的な農業経営の確立と地域農業の維持確保

○小郡市園芸施設等整備事業(市)

国県事業の活用が難しい農家を支援する事業。

○事業活用実績 ・防油堤など



○畜産競争力強化対策事業(県)

畜産農家が機械導入する際に利用できる事業。

○事業活用実績 ・ディスクモア



○産地パワーアップ事業(国)

活力ある高収益型園芸産地育成事業(県)

パイプハウス等園芸施設や園芸用機械導入支援。

○事業活用実績 ・製氷機など

○水田農業担い手機械導入支援事業(県)

米・麦・大豆用の機械導入支援事業。

○事業活用実績 ・コンバイン

○農地中間管理事業

人・農地プランに掲載された地域農業の中心となる担い手に、農地中間管理機構を仲介して農地を集約させることで、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、農業への新規参入を促すなどの農用地の利用効率化及び高度化の促進を図ることで、耕作放棄地の解消と後継者不足を補い、農業生産性の向上につなげていく事業です。

○平成30年11月公募：貸し手（6件）⇒借り手（1法人） 20筆：19,526㎡ の集積を達成

(2) 産地銘柄の確立（ブランド化）と6次産業化の促進

○小郡市農産物特産品化事業

市内で生産された農産物等の高付加価値化を図る農業者団体等に対し、加工品開発費やPR等にかかる費用の一部について支援を行うために、地方創生推進交付金を活用して補助事業を実施しました。

30年度の事業申請者は、①七夕枝豆を広める会、②小郡市観光協会の2件でした。

○七夕枝豆フェア



平成28年より始まった七夕枝豆の生産は、「七夕枝豆を広める会」が取り組んでいる事業です。「七夕の里おごおり」にちなみ、年毎に七夕神社と老松宮で交互に豊作祈願のお祓いを受けた黒大豆の種子を栽培し、七夕の季節に提供しています。

30年度は、フェア対象店の裾野を広げ、SNSや各行政区掲示板へポスターを掲示してPRに努め、保育園の園児に種まきや収穫作業を体験させることで食育の要素も取り入れたイベント展開を行っています。

市民へのお披露目として7月29日に開催された「おごおり七夕だまめ収穫祭」では、残念なことに台風接近のため終了時刻を早めざるを得ませんでした。

また、8月1日～14日までの間、市内飲食店で七夕枝豆を使った一品料理を提供する「小郡の七夕枝豆フェア」が実施されています。



【生涯学習センターでのイベント風景】

○キヨミドリの特産品化



キヨミドリは通常品種（フクユタカ）よりも甘みが強く、緑色の色味が鮮やかな上、育成時期や必要となる栽培技術は同じであることから、大豆生産に携わったことのある農業者であれば取り組みやすいという特性を生かして、生鮮品・生鮮加工・乾燥大豆加工の3とおりの特産品化を目指した取組を進めています。

農産物の特産品化を行うには十分な生産量が必要です。30年度は、生産体制の確立と生鮮品（枝豆）として販売することを目標としました。JAみいの協力のもと

【キヨミドリ特設販売ブース】 キヨミドリの生産を引き受けてくださる農業者による「平成30年度小郡市キヨミドリプロジェクト」を立ち上げましたが、7月豪雨による冠水とその後の干ばつにより発芽不良などが発生し、収穫量が激減しました。

無事収穫された枝豆については、イオン小郡をはじめとする県内イオングループ5店舗や各市場、JAの販路を活用して販売されました。



農業生産基盤の整備と優良農地の確保

(1) 農業の生産基盤であるほ場、農道、用排水路及びため池等の整備・更新

○実施事業(下記事業は全体の工程を表しており、30年度事業実績のみを挙げている訳ではありません。)

- ・(宝満川)大板井頭首工:油圧シリンダー分解整備・扉体装置塗装替・水密ゴム取替
- ・(宝満川)稲吉堰:改築
- ・(宝満川)津古堰:ゲート改修
- ・(築地川)大崎堰:扉体塗装塗替・水密、防塵ゴム取替・操作盤取替・フロートカバー取替
- ・井の浦堤:斜樋・土砂吐ゲート更新
- ・大板井(上)堤:埋立に関する概略検討調査
- ・上田町堤:災害復旧
- ・花立(上西・下西)堤:堤体工・法面保護工・取水設備工・洪水吐工
- ・組坂堤:堤体工・護岸ブロック工・取水施設・洪水吐工、浚渫
- ・影堤:堤体工・波受ブロック・取水施設・洪水吐工
- ・味坂、御原揚水機場保全工事

(2) 遊休農地の解消等による優良農地の確保

農業委員会による農地パトロールにより、耕作放棄地の実態を把握し、改善指導を行うことで、耕作放棄地の減少に努めています。

30年度は、8/28・29・31の3日間で農地パトロールを実施しました。



環境保全型農業の推進と自然環境機能の維持

(1) 環境に配慮した農業生産の推進

○環境保全型農業直接支払交付金事業



農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を促進するために、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対して支援を行っています。

エコファーマー認定者や「ふくおかエコ農産物認証」取得者で構成される団体が対象で、化学肥料や化学合成農薬の5割以上低減することが事業の条件です。

- ・3グループ
- ・対象面積:4,400a
- ・取り組み内容:
 - ・カバークropp・・・2件:1,058a
 - ・有機農業・・・・・・2件:3,342a

○ふくおかエコ認証制度

化学合成農薬の散布回数(成分回数)と化学肥料の使用量を、ともに県基準の半分以下で生産する栽培計画を認証する制度。この制度に基づき生産された農産物(認証農産物)には、認証マークを貼ることができます。

○市内エコ農産物認証取得者:28戸(同一人物であっても、認証番号が異なる場合は計上)

- ・取組面積:6,462.46a
- ・取組品目:うるち米、さといも、こまつな、らっきょう

○エコファーマー認証制度

エコファーマーとは、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律(持続農業法)」に基づき、「土づくり」、「化学合成農薬の低減」、「化学肥料の低減」の3つ全てに取り組み計画を作成し、県知事の認定を受けた農業者の愛称のことです。認定は5年間有効となっています。

○市内エコファーマー認証者:2戸

- ・取組品目:水稻、麦、大豆

○耕畜連携

畜産農家と耕作農家が協定を結び、水田で生産した飼料用作物を畜産農家に提供するとともに、家畜の堆肥を水田に還元して土づくりを行う事業です。

○30年度耕畜連携件数:21件